

教育目標

【校訓】

花のように美しく
水のようにすなおで
石のように強く

(1) 教育目標

なりたい自分になるために、学び続ける人の育成
－関わり**あい**、学び**あい**、高め**あい**、つなぎ**あい**のある学校－

(2) 基本方針

グローバル化や人工知能・AIなどの技術革新が急速に進み、予測困難なこれからの時代。子どもたちには自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていく力が求められる。

変化の激しいこれからの社会を生きる子どもたちに必要な資質・能力（何ができるようになったか）を着実に育むため、その育成に向けた教育内容（何を学ぶのか）、学習・指導の改善（どのように学ぶのか）、子どもの発達を踏まえた指導（子ども一人一人の発達をどのように支援するのか）、適切な学習評価（何が身についたのか）の在り方など、次期学習指導要領の基本的な考え方が示された。

そのためには、一人一人の子どもたちが、「主体的に学び、他者とよりよくかかわり、互いの良さを認めあう」ことを日々の教育活動において、一つ一つ着実に紡いでいくことが必要である。このことが、一人一人の人格を磨き、夢や志を育て、自己肯定感や自己有用感を醸成していく。

教師は、一人一人の児童の未来を担っているという自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に努め、その職責を遂行するために「学び続ける教師」でなければならない。

また、家庭（しつけ）、学校（学び）、地域（育てる）のそれぞれの役割と責任を自覚し、子どもを核とした「地域とともにある学校づくり」に向け、学校運営協議会制度を機能させていく。

※ キーワード 「**あい**」のある学校

「**あい**」は、すべての教育活動の根幹をなすものととらえ、「**あい**」を増やし、あふれさせることで、教師と子ども、子ども同士、教師同士、教師と保護者や地域住民などとの関係を築き紡いでいくことで、人としての幹を太らせ、「たくましさ」と「しなやかさ」を兼ね備えた人の育成を図っていく。

(3) 本年度の重点目標

ア 個性を伸ばし、確かな学力を形成する教育の充実

- 1 「わかる」「できる」「楽しい」授業の展開
- 2 個に応じた指導の充実
- 3 学習規律、学習習慣の定着
- 4 自ら学び考える力を伸ばす「総合的な学習の時間」の充実
- 5 保護者と連携し、家庭学習の習慣化と充実

イ 豊かな心をはぐくむ教育の充実

- 1 道徳の時間の充実
 - ・道徳教育の要としての道徳科の授業の質的充実に努めるとともに、問題解決的な学習の授業を大切にし、「考え、議論する」体験的な学習の充実
- 2 自分を大切にできる心と他を思いやる心の育成
- 3 基本的な生活習慣の充実

4 人権教育の推進

- ・生命を大切にし、人権の尊さを重んじ、合理的なもの見方、考え方を身に付け、正しく行動できる児童の育成
- ・児童の発達段階に即して、人権認識を高め、正しく理解させる基礎の充実

5 特別支援教育の推進

- ・一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばす自立支援を行う
- ・交流活動を位置付け、特別支援学級における主体的な学級経営の充実
- ・全職員が特別支援教育及び障害児の理解と認識を深めるための研修の充実

6 生徒指導の充実

- ・児童と教職員の心のふれあいを通して、児童理解と信頼関係づくりに努めるとともに、常に報告・連絡・相談・確認を密にする
- ・いじめ、不登校、問題行動の防止等に全教職員一致して取り組み、「心の居場所」づくりの推進に努める

ウ 心身の健やかな成長を促す教育の充実

- 1 楽しい体育の実践と組織的な体力づくりによる運動能力の育成
- 2 防災教育の推進
- 3 心身の健康作りの推進

エ 信頼される学校づくりの推進

- 1 地域とともにある学校づくりの推進
 - ・学校運営協議会制度（コミュニティースクール）の導入
- 2 情報発信・情報収集の推進
 - ・学校だより、ホームページ等による積極的な発信
- 3 保護者・地域との連携を図った教育活動の推進
 - ・ゲストティーチャーやボランティア等の人材の確保、活用
- 4 学校評価等各種アンケート結果による学校づくりの改善
- 5 危機管理体制の充実
 - ・プールを含め、校内における施設・設備の安全点検
 - ・不審者、火災、地震等の災害時の避難連絡体制の点検
 - ・登下校時及び通学路の安全点検、交通事故等から身を守る指導の徹底
 - ・保護者や地域、関係機関との連携を強め、迅速な対応が取れる体制の点検
- 6 異校種等との連携・推進
 - ・保幼等の連携（スタートカリキュラム）
 - ・中学校区における小・小、小・中連携